

平成 22 年 5 月 25 日現在

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18330122

研究課題名（和文） 生活保護における自立支援の在り方に関する研究

研究課題名（英文） Study of support for independence in public assistance

研究代表者

岡部 卓 (OKABE TAKU)

首都大学東京・人文科学研究科・教授

研究者番号：40274998

研究成果の概要（和文）：

本研究は、生活保護における自立支援の在り方について検討を行うことにある。そこでは、主として次の3つの研究を行っている。

(1)生活保護における自立支援を行っていく上で、自立並びに自立支援についてどのような概念構成・内容をもっているのか、またどのような制度・政策的文脈で語られるのか、の検証である(理論研究)。

(2)生活保護制度において自立支援がどのように位置づけられているのか、また自立支援プログラムの内容・方法・手順とその体制について、の検証である(制度・政策研究)。

(3)生活保護における自立支援がソーシャルワークにどのように位置づけられるのか、また自立支援におけるソーシャルワークの内容・プロセス・方法をどのように構築していくかについて、の検証である(ソーシャルワーク研究)。

これら検証を通して、生活保護における自立支援が、より利用者・当事者の利益につながる考え方、制度・政策と行政、ソーシャルワーク実践にしていくかその在り方を提示している。

研究成果の概要（英文）：

This study analyzes the way to promote independence of the user in the public assistance program by the following three research schemes.

- 1) To theoretically analyze concepts of independence and its promoting measures in policy contexts;
- 2) To evaluate program contents, measures, process and administration of the independence programs in the public assistance;
- 3) To investigate independence programs, with a social work perspective, in terms of their construction of definitions, identifications, process, and skills.

The research clarifies the way to promote independence of the public assistance users by maximizing their benefits and inducing political, administrative and social work measures and practice.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	3,800,000	0	3,800,000
2007年度	3,600,000	1,080,000	4,680,000
2008年度	3,600,000	1,080,000	4,680,000
2009年度	3,600,000	1,080,000	4,680,000
総計	14,600,000	3,240,000	17,840,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：生活保護、自立、自立、自立支援、自立支援プログラム、ワークフェア、就労自立、日常生活自立

1. 研究開始当初の背景

(1) 生活保護における「自立」並びに「自立助長」をめぐる議論は、生活保護制度創設当初よりそのとらえ方が分かれている。

(2) 生活保護における「自立」並びに「自立助長」のとらえ方が、生活保護における制度改革により「自立支援」とそれを実現する「自立支援プログラム」の導入が図られるようになった。

(3) 生活保護領域における「自立」「自立助長」「自立支援」「自立支援プログラム」それぞれの検討並びに関係についての整理、制度・政策とそれを運営する行政からの検討、生活保護におけるソーシャルワークの検討をする必要がある。

2. 研究の目的

(1) 生活保護制度において制度対象をどのように設定し対人援助を行ってきたのか制度的側面から歴史的に跡づけ、今後の生活保護制度における対人援助の在り方について検討する。

(2) 具体的に対人援助のフィールド（福祉事務所、保護施設、関連専門職・機関）においてどのように考え対人援助を行ってきたのかその変遷を歴史的に跡づけ、今後の生活保護制度における対人援助の在り方について検討する。

(3) 生活保護制度の全面的見直しが行われた生活保護における新たな取り組みが期待されている（社会保障審議会福祉部会「生活保護制度の在り方に関する専門委員会」）。そこで(1)(2)で言及したこれまでの議論を踏まえ、対人援助（「自立支援」）に関する理論的検討を行うと共に「自立支援」に関する先駆的取り組みを調査し、それらを素材に生活保護における「自立支援」の在り方について検討する。

3. 研究の方法

本研究課題の研究方法は、以下の通りである。

(1) 研究会（「自立支援研究会」）を組織して定期的に開催し、研究報告並びに意見交換を行った。研究会構成メンバーは研究代表者、分担研究者、テーマによってゲストスピーカーが参加している。また研究代表者、分担研究者で夏季合宿を行いそこでも研究の成果について議論を深めた。

(2) 行政関係者（国、自治体等）と自立支援検討会を組織して定期的に開催し、「自立支援プログラム」の作成・実施・運営・評価とその体制について実践報告並びに意見交換を行った。

(3) 「自立支援」に取り組む先駆的自治体であるA自治体を対象として、利用者インタビュー調査、支援者インタビュー調査、福祉事務所の組織的取組みに関する資料的検討をそれぞれ実施し、「自立支援」の取組みの成果を明らかにした。

4. 研究成果

本研究は、社会福祉学における多くの公的扶助研究者と先駆的取組みを行っている全国の自治体や国が自立支援をめぐり、これまでの到達点と今後の取組みについて理論的・制度的・対人援助について議論を重ねたものであり、その研究上並びに社会的意義・貢献がある。

本研究の研究成果は、研究代表者・分担研究者の連名で報告書（総460頁、2010.3）、自立支援ハンドブック（総15頁、2010.3）、社会福祉実践理論学会（2009.07）、社会福祉学会（2009.10）における学会報告等を出して

いる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 38 件)

- ① 岡部 卓、「ソーシャルワークによる脱一貧困への取組み」、『ソーシャルワーク学会誌』、査読有、第 19 号、2010 年、27-42.
- ② 岡部 卓、「生活保護における自立支援」、『社会保障のモデルチェンジ』、査読有、第 24 号、2009 年、152-166.
- ③ 岡部 卓、「自立支援の考え方と意義」、『生活と福祉』、査読無、No. 627、2008 年、22-25.
- ④ 長友祐三、「要保護者の自立に向けた効果的な援助・支援の実現をめざして」、『月刊生活と福祉』、査読無、No. 632、2008 年、8-11.
- ⑤ 新保美香、「自立支援におけるケースワーカーの役割」、『生活と福祉』、査読無、No. 618 号、2007 年、8-12.
- ⑥ 平野方昭、「生活保護『改革』を問うー制度『見直し』の動向とその問題点」、『議会と自治体』、査読無、第 104 号、2006 年、5-13.

[学会発表] (計 13 件)

- ① 新保美香 (発表者)・根本久仁子・岡部 卓、「生活保護の自立支援における支援対象者の意識と支援者の役割ーP 福祉事務所との共同研究事業を通じて」、日本社会福祉学会第 57 回大会、2009. 10. 11. 法政大学多摩キャンパス.
- ② 根本久仁子 (発表者)・新保美香・岡部 卓、「生活保護利用者の意識と支援者の役割に関する一考察ーP 福祉事務所における就労支援プログラム利用者および支援者に対するインタビュー調査を通じてー」、日本社会福祉実践理論学会第 26 回大会 2009. 7. 5. 聖隷クリストファー大学.
- ③ 岡部 卓、「生活保護における自立支援」、社会保障法学会第 54 回大会、2008. 10. 東洋大学白山キャンパス.

[図書] (計 47 件)

- ① 自立支援共同研究チーム編 (岡部 卓・新保美香・根本久仁子)、『自立支援ハンドブックー自立支援をよりよくすすめる 8 つのポイント』、2010 年、15 頁.
- ② 岡部 卓・森川美絵・新保美香・根本久仁子 編者、中央法規出版、『生活保護の相談援助活動ー自己点検ワークブック』、2009 年、82 頁.
- ③ 東京都板橋区・首都大学東京 (岡部 卓 執筆代表)、ぎょうせい、『生活保護自立支援プログラムの構築 官学連携による個別

支援プログラムの Plan・Do・See』、2007 年、286 頁.

[その他] (計 4 件)

- ① 岡部 卓 (研究代表者)、『平成 18 年度～平成 21 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 「生活保護における自立支援の在り方に関する研究」総括・分担研究報告書』、2010 年、460 頁.
- ② 岡部 卓・新保美香・根本久仁子、『自立支援の取り組みにおける支援対象者の意識と支援者の役割ー京都府山城北保健所福祉室・首都大学東京共同研究』平成 20 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B) 「生活保護における自立支援の在り方に関する研究」、平成 20 年度研究報告書、2009 年、229 頁.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡部 卓 (OKABE TAKU)
首都大学東京・都市教養学部・教授
研究者番号：40274998

(2) 研究分担者

六波羅 詩朗 (ROKUHARA SIRO)
目白大学・人間学部・教授
研究者番号：50191705

平野 方昭 (HIRANO MASA AKI)
日本社会事業大学・社会福祉学部・准教授
研究者番号：10386287

長友 祐三 (NAGATOMO YUZO)
埼玉県立大学・保健医療福祉学部・准教授
研究者番号：50438107

新保 美香 (SINBO MIKA)
明治学院大学・社会学部・教授
研究者番号：20298053

宮永 耕 (MIYANAGA KO)
東海大学・健康科学部・准教授
研究者番号：90328162

吉浦 輪 (YOSHIURA TORU)
東洋大学・ライフデザイン学部・准教授
研究者番号：60305406

金子 充 (KANEKO JU)
立正大学・社会福祉学部・准教授
研究者番号：30366950

森川 美絵 (MORIKAWA MIE)
国立保健医療科学院・福祉サービス部福祉技術開発室・主任研究員

研究者番号：40325999

根本 久仁子 (NEMOTO KUNIKO)
聖隷クリストファー大学・社会福祉学部・
准教授
研究者番号：10410507

西村 貴直 (NISHIMURA TAKANAO)
長崎国際大学・人間社会学部・専任講師
研究者番号：10389512

杉村 宏 (SUGIMURA HIROSHI)
2006～2007 年度参加
法政大学・現代福祉学部・教授
研究者番号：20113574

(3) 連携研究者：該当なし